



御鎮座 2300年祭

高円宮家 根付展

拝観料
無料

3.17 曜日 ~ 24 日曜日 9:00
16:00

※但し、17日は13:00より開館

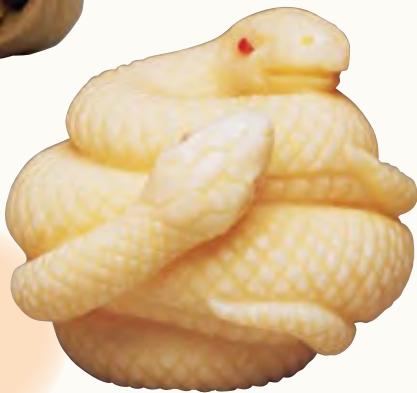
開催場所／椿神社（椿祷殿）



姫だるま



らんりょうおう
蘭陵王



巳

根付とは？

ポケットの無い男性用の着物で袋や印籠等を持ち歩く場合に、袋や印籠などに付けられた紐の他方の端に取付け、紐を帯の下に挟み、根付を帯の上方に出す事によって引っ掛け袋や印籠などが落ちないようにする目的で用いられた。大きさは数cmから、小さいものは1cm位のものもある。材質は堅い木（黄楊、一位、黒檀等）や象牙などが多い。江戸初期のものは簡素なものが多いため、時代と共に実用性と共に装飾性も重視されるようになり、江戸時代後期に入つて爆発的に流行した。この頃になると細かい彫刻が施されるようになり、根付自体が美術品として収集の対象となった。明治時代に入ると海外から高い評価を得て主に輸出用に生産されるようになるが、この頃になると実用性は薄れ穴の空いた小型の精緻な彫刻としてより認知されるようになる。大正、昭和を経て一時衰退に向かうが、平成に入って様々な分野から技術者・多種多様な素材が参入、現代根付として再び動きが活潑になりつつある。